

令和3年度 重点目標と具体的な取り組み

■「学習指導の質的充実」 他者の考えを受け止め、自らの考えをしっかりと発信できる力を培うために

1. 主体的で対話的な深い学びの授業実践
 - (1)協働的学び・対話的学びを意図的に取り入れた授業や学級指導等を意識して実践
 - ・議論や協力して課題に取り組む場面を増やし、自他を大切にする人間関係づくりを行う。
 - ・他者の意見をまとめたり、自分の考えを深めて言語化できるよう、話し方・聞き方のマニュアル化を図り、より良い学習集団の育成を目指す。
 - (2)家庭学習の習慣など自ら学ぶ姿勢を高める指導と実践
2. 確かな学力(基礎的な知識及び技能の確実な定着・問題解決能力)の育成
 - (1)「堀中授業スタイル」を意識した授業の実践の深化
 - ・生徒一人ひとりが、その授業で身につけるべき力を意識して、その1単位時間で完結する授業の実践
 - ① 目標や学習課題をつかむ
 - ⇒②自分の力で考える。みんなの考えを尊重して学び合う。自分の考えを整理して表現する。
 - ⇒③目標が達成できたか振り返る。
 - (2)生徒が学ぶ喜びを実感でき、学習意欲が高まる授業の実現に向けた工夫と改善
 - ①わかる喜び ②活躍できる喜び ③認めもらう喜びの3つを満たす指導方法の検討

■安心・安全と健康づくり

1. いじめ・暴力等を許さない強い姿勢の徹底と環境づくり
 - (1)いじめの早期発見の取り組みと早期対応 : アンケートの実施、いじめの芽を見逃さない体制づくり
 - (2)いじめを許さない心の指導: 道徳、学活等を中心とした心の教育の充実
 - (3)体罰・暴言を「しない、させない、ゆるさない」の環境づくり
2. 安全指導・防災教育、校内施設の安全点検
 - (1)教育相談、セーフティ教室、避難訓練、防災教室等の実施と安全指導の徹底
 - (2)地域や消防団体等との連携
 - (3)定期的な安全点検の実施
3. 学校事故等への迅速な対応
 - (1)家庭への速やかな連絡と密な連携
 - (2)アレルギーや怪我等への処置対応の徹底、医療機関や区教委との連携、万が一を視野に入れた対応
4. 健康づくり
 - (1)予測困難な時代を生き抜くためのたくましい体力づくりの推進
 - (2)健康に関する正しい知識の教授と、実践的な能力や態度の育成

■ 家庭と地域と連携した開かれた学校づくりの推進

- (1)充実した小中連携教育の実践による、教育の質の向上
- (2)地域行事等のボランティア活動への積極的な参加促進
- (3)学校便り、HPによる情報発信等、地域に信頼される開かれた透明性ある学校づくり
- (4)生徒、保護者、教職員の自己評価や、学校評議員等による評価の活用

■ 豊かな心の育成とインクルーシブ教育の推進

1. 道徳科の授業を中心とした心の教育の充実
 - (1)考えて議論する道徳科授業の実践
 - (2)職場体験やボランティア活動等の価値ある体験の充実
2. あいさつ(人間関係の潤滑剤)習慣の向上
 - (1)「おはよう、こんにちは」の日常的な挨拶の習慣化の取組(教職員から率先して)
 - (2)「ありがとう」の感謝を伝える言葉の取組
3. 特別な支援を必要とする生徒、不登校生徒へのサポート
 - (1)教育相談体制、特別支援教育体制の充実、面談の充実、生活アンケートの実施
 - (2)スクールカウンセラーや関係諸機関との連携
4. 特別支援学級開設に伴いインクルーシブ教育の研修の充実
 - (1)関係機関との連携による特別支援教育の正しい理解と推進
 - (2)障害の有無にかかわらず共に学ぶことの大切さを知る社会性の習得